

第7期（平成20年度）事業報告（案） （平成20年4月1日～平成21年3月31日）

特定非営利活動法人 NPO 近畿水の塾は、第7期（平成20年度）の事業について、以下のとおり実施した。

1. 人と水との関わりに係る調査及び研究

継続的な公開研究会「河川塾」の開催

【実施内容】・今年度は、「淀川流域委員会」シリーズとし、「今後の淀川のあり方」をテーマに「河川塾」を実施した。また、昨年度と引き続き、「私の仕事とマイリバー」をテーマに、会員・外部を含めた講師による各自の仕事や市民活動等の取り組み紹介を実施した。

【実施場所】大阪府環境農林水産研究所環境情報プラザ等

【実施期間】平成20年4月1日～平成21年3月31日（月1回程度）

各種聞き取り調査や川の資料づくりの実施

【実施内容】・名張の鮎釣り名人の「鈴木のおかあさん」とそば打ち名人の大阪府庁OB「そば紀さん」から、名張での暮らしについて聞き取りを行った。

【実施場所】名張市

【実施期間】平成20年9月6日

2. 人と水との関わりに係る事業の企画及び実施

各種イベント、出前講座の実施

【実施内容】・淀川水系流域委員会委員長の宮本博司氏による講演「淀川水系流域委員会の取り組み」を開催した（5/31）。

・近畿各地から水環境保全に関心と関わりをもつ市民が集い、伏見の歴史・文化を学ぶとともに、各地で進めている水環境保全活動を紹介し合い、よりよい河川環境保全と流域間連携のあり方について討論する「近畿水環境交流会 in 伏見」（7/26-7/27）を開催した。

・猪名川・藻川まつり（9/14）の中で、E ボートによる水面利用イベントを企画実施した。

・「川の全国シンポジウムー淀川からの発信」を実行委員会に参画し開催した（11/2-3）。

・上記連携行事として、大西暢夫監督制作の「水になった村」の上映会を開催した（12/13）。

【実施場所】伏見川、藻川等

【実施日時】平成20年4月1日～平成21年3月31日

3. 人と水との関わりに係る行政機関、各種事業主体、特定非営利活動法人、市民ボランティア団体等への助言、提案または技術的援助

【実施内容】・天若湖アートプロジェクト2008に後援した。

【実施場所】京都府南丹町日吉ダム天若湖畔

【実施日時】平成20年8月9日（土）

4. 人と水との関わりに係る専門家、実践者、市民及び各種機関等の交流の場の創出

ホームページの作成・更新

【実施内容】・河川塾の開催情報を中心に情報発信を行った。

【実施場所】事務局

【実施日時】随時

他団体との交流やネットワークの拡大（会員の参加を含む）

【実施内容】

- ・「全国水環境交流会」に参画した。
- ・「第1回いい川・いい川づくりワークショップ」（「川の日ワークショップ」を引き継ぐもの）等全国的なネットワークにも積極的に参画した。なお、後日今年度限りで休校する徳島県阿南市立新野西小学校の活動を「オヤニラミ賞」として、近畿水の塾で勝手（？）表彰した。
- ・神戸「農都ネット」と情報交換を行った。
- ・大和川市民ネットワークに参画した。
- ・BYスタンプラリーに継続して参画した。近畿水環境交流会 in 伏見や拡大版河川塾をエントリーした。
- ・淡海の川づくりフォーラム（滋賀県）に選考委員として参加した。

【実施場所】全国

【実施日時】随時

第7期（平成20年度）特定非営利活動に係る事業収支決算書

特定非営利活動法人近畿水の塾

平成20年4月1日から平成21年3月31日

(単位：円)

科 目	決算額	予算額	差異	備 考 (決算)
I 収入の部				
1 入会金・会費収入				※正会員61
正会員入会金収入	2,000	20,000	(18,000)	2千*1
正会員会費収入	156,000	180,000	(24,000)	3千*52
賛助会員会費収入	14,000	20,000	(6,000)	2千*7
2 寄付金収入	13,120	5,000	8,120	理事会後など
3 助成金収入	0	0	0	
4 事業収入				
調査・研究事業	59,000	50,000	9,000	河川塾
シンポジウム等企画・実施事業	69,810	100,000	(30,190)	総会講演、イベント（拡大版）
助言・支援事業	0	10,000	(10,000)	
交流創出事業	0	0	0	
5 その他収入				
受取利息	2,291	0	2,291	
当期収入合計 (A)	316,221	385,000	(68,779)	
前期繰越収支差額	1,443,110	1,443,000	110	
収入合計 (B)	1,759,331	1,828,000	(68,669)	
II 支出の部				
1 事業費				
調査・研究事業	11,700	30,000	(18,300)	河川塾
シンポジウム等企画・実施事業	191,515	100,000	91,515	総会講演、拡大版の上映料、謝礼等
助言・支援事業	0	10,000	(10,000)	
交流創出事業	0	10,000	(10,000)	
その他事業	0	10,000	(10,000)	
2 管理費				
広告宣伝費	0	30,000	(30,000)	
給与手当（事務局職員）	120,000	120,000	0	アルバイト
水道光熱費（事務局）	0	0	0	
通信費	32,111	30,000	2,111	NTT, Yahoo, 切手, 振込料
旅費交通費	1,440	30,000	(28,560)	
消耗品費	498	10,000	(9,502)	事務用品費
会議費	15,150	12,000	3,150	理事会会議場所
減価償却費	0	0	0	
租税公課	0	0	0	
諸会費	0	5,000	(5,000)	
寄付金	0	0	0	
3 予備費	0	10,000	(10,000)	
当期支出合計 (C)	372,414	407,000	(34,586)	
当期収支差額 (A-C)	(56,193)	(22,000)	(34,193)	
次期繰越収支差額 (B-C)	1,386,917	1,421,000	(34,083)	

第 8 期（平成 21 年度）事業計画（案）
（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

特定非営利活動法人 NPO 近畿水の塾は、第 8 期（平成 21 年度）の事業について、以下のとおり計画する。

1. 人と水との関わりに係る調査及び研究

継続的な公開研究会「河川塾」の開催

【実施内容】・「私の関わる水環境」などをテーマに、会員を含め会員外の各自の仕事や市民活動等の取り組み紹介を「河川塾」で実施する。

・近畿各地で、川歩きなどフィールドワークを積極的に実施する。

【実施場所】大阪府環境農林水産研究所環境情報プラザ等

【実施期間】平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日（月 1 回程度）

各種聞き取り調査や川の資料づくりの実施

【実施内容】・古老から（仮称）「おじいちゃんの仕事、おばあちゃんの暮らし」の聞き取り調査を実施する。宇陀市、木津市など。

・近畿水の塾オリジナルの「川の時刻表」づくりを検討するため、分科会を立ち上げる。（候補：南海電鉄空港線）

【実施場所】近畿圏内

【実施期間】平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日

2. 人と水との関わりに係る事業の企画及び実施

各種イベント、出前講座の実施

【実施内容】・会員の西河嗣郎さんが船長となり、環濠クルーズ「堺のまちを観る」を開催する。（4/11）

・淀川愛好会主催の大戸川ダム現地見学会と連携する（4/29）。

・「水になったふるさと」の上映会を開催する（5/30）。

・近畿各地から水環境保全に関心と関わりをもつ市民が集い、木津川中流域の自然・文化・歴史を学ぶとともに、各地で進めている水環境保全活動を紹介し合い、よりよい河川環境保全と流域間連携のあり方について討論する「近畿水環境交流会 in 木津川」（7/ 25-7/26）を開催する。

・猪名川・藻川まつりの中で、E ボートによる水面利用イベントを企画実施する。

・河川塾 100 回記念として、「女性技術者による川を考える（仮称）」を企画実施する（時期検討中）。

【実施場所】木津川、藻川等

【実施日時】平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日

3. 人と水との関わりに係る行政機関、各種事業主体、特定非営利活動法人、市民ボランティア団体等への助言、提案または技術的援助

【実施内容】・天若湖アートプロジェクト 2009 に後援する。

【実施場所】京都府南丹町日吉ダム天若湖畔

【実施日時】平成 21 年 8 月 8 日(土)

4. 人と水との関わりに係る専門家、実践者、市民及び各種機関等の交流の場の創出

ホームページの作成・更新、ニュースレターの作成等

【実施内容】・川に関わる活動をしている団体や個人を紹介するコーナーやコラムなどを企画し内容を充実させる。

・ニュースレターを2回程度発行する。

【実施場所】事務局

【実施日時】随時

他団体との交流やネットワークの拡大

【実施内容】・BY スタンプラリーに継続して参画する。近畿水環境交流会 in 木津川や拡大版河川塾をエントリーする。

・「全国水環境交流会」に積極的に参画する。

・「第2回いい川・いい川づくりワークショップ」(「川の日ワークショップ」を引き継ぐもの)等全国的なネットワークにも積極的に参画する(9/21-22)。

・きんき環境館と情報連携を行う。

・神戸「農都ネット」と情報交換を行う。

・学生等のインターンシップにより、次世代につなげる連携を行う。

【実施場所】全国

【実施日時】随時

第8期（平成21年度）特定非営利活動に係る事業収支予算書

第二号議案

特定非営利活動法人近畿水の塾

平成21年4月1日から平成22年3月31日

(単位：千円)

科目	予算額	前年度決算額	差異	備考 (予算額)
I 収入の部				
1 入会金・会費収入				
正会員入会金収入	10	2	8	2千円×5人(新規+5として)
正会員会費収入	180	156	24	3千円×60人
賛助会員会費収入	20	14	6	2千円×10口
2 寄付金収入	10	13	(3)	
3 助成金収入	0	0	0	
4 事業収入				
調査・研究事業	50	59	(9)	0.5千円×10人×10回
シンポジウム等企画・実施事業	70	70	0	
助言・支援事業	10	0	10	講師謝金
交流創出事業	10	0	10	
5 その他収入				
受取利息	2	2	0	
当期収入合計 (A)	362	316	46	
前期繰越収支差額	1,387	1,443	(56)	
収入合計 (B)	1,749	1,759	(10)	
II 支出の部				
1 事業費				
調査・研究事業	18	12	6	河川塾
シンポジウム等企画・実施事業	150	191	(41)	講演、水交流会等
助言・支援事業	10	0	10	
交流創出事業	10	0	10	ニュースレター
その他事業	0	0	0	
2 管理費				
広告宣伝費	30	0	30	パンフレット
給与手当 (事務局アルバイト)	120	120	0	アルバイト (1万円/月)
水道光熱費	0	0	0	
通信費	15	32	(17)	切手、振込料
旅費交通費	20	1	19	
消耗品費	10	1	9	
会議費	25	15	10	
減価償却費	0	0	0	
租税公課	0	0	0	
諸会費	0	0	0	
寄付金	0	0	0	
3 予備費	4	0	4	
当期支出合計 (C)	412	372	40	
当期収支差額(A-C)	(50)	(56)	6	
次期繰越収支差額(B-C)	1,337	1,387	(50)	

平成21年度 役員候補名簿

特定非営利活動法人近畿水の塾

役職名	氏名
理事	足立 崇博
理事（新任）	磯貝 猛
理事	久保田 洋一
理事	白樫 誠治
理事	西河 嗣郎
理事	疋島 巖
理事	福廣 勝介
理事（新任）	南 隆雄
理事	安田 博之
監事	勝山 慶一

※ 理事あいうえお順

平成20年度 役員名簿

特定非営利活動法人近畿水の塾

役職名	氏名
理事長	福廣 勝介
理事	足立 崇博
理事	久保田 洋一
理事	佐藤 拓二
理事	白樫 誠治
理事	塚田 順一
理事	西河 嗣郎
理事	速水 成隆
理事	疋島 巖
理事	安田 博之
監事	勝山 慶一

※ 理事あいうえお順